

## 令和8年度運動方針(案)

### 1. 運動の基調

私たちの上部団体である自治労連は、昭和45年4月の結成以来、「自由と民主主義と社会正義」の実現を運動原則とした労働運動を展開してきました。

この自由として民主的な労働運動は、友愛と信義に基づく個の尊厳を重んじ、自由と民主主義の立場に立ち、働く者一人ひとり尊厳を守り生活向上を図りながら、社会正義と社会の発展へと繋げるものです。

本年5月に開催された自治労連第57回定期大会では、先人たちが築き上げてきた運動や理念、運動の根幹を成すものが何なのか、結成当時の精神に立ち返って見つめ直すことができました。これからも運動の原点に返り、自治体の共通する課題に対し、統一的、効果的に問題の解決を図ることであり、労働運動の民主化を通じて地方政治のよりよき発展に貢献しなければなりません。

第一職員労働組合は、自治労連の基本理念を継承しつつ、組織拡大、単組間の連携強化、教育活動、ユース部活動の活性化等、変化の激しい時代においても、誰もが誇りを持って働ける職場と地域社会の新たな姿を創り上げていきます。

### 2. 運動方針

私たち第一職員労働組合は、組合員や市民のために、労働運動の改革に取り組んで行かなければなりません。要求しても変わらない現状、精神的に疲弊する組合員の姿を前に、現場の声を確かな改善へと結びつける運動が求められています。

昨年的人事院勧告は、高水準のベースアップとなりましたが、物価高騰や生活コストの増加により、組合員の多くは依然として生活向上を実感できていません。

私たちは、賃金・処遇改善の実感を組合員へ届けるため、自治労連の方針と連携しながら、より実効性のある交渉を進めて行きます。

また、熊本地震や新型コロナウイルス感染症を経て、職場の安全衛生、メンタルヘルス、ワーク・ライフ・バランスの重要性は一層高まっています。

今年度も職場環境改善を最優先に据え、働く職場環境づくり、人材育成・組織の強化を確実に前へ進めてまいります。

さらに、組織拡大、単組間の連携強化、教育活動の充実を図り、自治労連運動の一翼を担う組織として役割を果たしていきます。

### 3. 2026春季生活闘争の取り組み

連合熊本2026春闘スローガンは、

『こだわろう! 暮らしの向上 ひろげよう! 仲間の輪』

と位置付け、取り組んでいます。

#### ●連合熊本2026春闘の取り組み

【すべての組合が全力で賃上げに取り組み、賃金の底上げと同時に、企業規模間、雇用形態間、男女間などの格差是正を進め、経済社会の新たなステージにふさわしい処遇改善を定着させる事をめざす。

また、非正規労働者の処遇改善、男女間賃金格差の改善、価格転嫁の徹底と適正取引の推進、働き方改革の実効性向上、生活防衛と生活支援策の強化、人材確保・育成、安全衛生・メンタルヘルス対策などの取り組みを強化し全ての働く人の生活向上と持続可能な地域社会の実現をめざす。】

熊本市は、政令指定都市14年目となり、更なる発展や暮らしやすい熊本市にするため、また、熊本地震の早期復旧や新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ地域経済の回復に向けて職員・組合員が全力で取り組んでいます。

全ての組合員が安心して元気に、熊本市のために生き生きと働き続け、熊本市民全ての方々が心豊かな生活を実現するように、2026春季生活闘争の要求を行いました。

### 4. 第一職労の歴史・未来

熊本市役所第一職員労働組合は、昭和41年5月、熊本市役所内に複数の組合がありましたが、当局への不満・現場の末端の声が通らない、色々な思いで「職員労働組合」と「第一現業労働組合」が合併し、『熊本市全現業職員労働組合』として設立されました。

そして、昭和41年7月16日、熊本県福祉会館ホールにて組合員409名の同志が集いその第一歩を踏み出し、組合名も『熊本市役所第一職員労働組合』に改名されました。

昭和43年12月、上部団体である全国自治団体組合連合(自治労連)の組織結成準備会が結成され、私たち組合も加盟しました。

また、昭和45年4月、福岡市において自治労連結成大会が開催され、結成大会において全日本労働総同盟(同盟)、全日本官公職労協議会(全官公)加盟決議決定がなされました。

昭和62年10月、全国の組織で労働戦線統一が掲げられ『全日本労働総同盟(同盟)』が解散、現在の『連合』が発足、上部団体である自治労連も加盟することとなりました。

現在、自治労連のもと、上部組織である日本労働組合総連合会(連合)、公務公共サービス労働組合協議会(公務労協)、政策研究フォーラム(旧・同盟)等へ加盟、活動をしています。

平成28年1月16日に組合員・組合役員の先輩方と「組合結成50周年記念式典・レセプション」を開催いたしました。

現在、組合員数も減少していますが、本年度は、結成60周年を迎えます。第一職労の未来のために、今後、70周年・・・100周年目指して活動をしてまいります。

## 【組合の歴史】

- 昭和41年5月 「熊本市役所第一職員労働組合」設立  
・組合員数 409名  
・初代執行委員長 甲斐 豊氏
- 昭和41年7月 「組合第1回定期大会」開催
- 昭和43年5月 組合役員改選・・・2代目執行委員長 永田 昭氏[～昭和54年度まで6期]
- 昭和45年5月 「自治労連」結成・・・32単組にて「全日本労働総同盟」に加入
- 昭和55年5月 組合役員改選・・・3代目執行委員長 島田道登氏[～平成5年度まで7期]
- 昭和60年7月 「第20回定期大会&組合員1,000人突破記念式典」開催
- 昭和62年10月 「全日本労働総同盟」解散、「連合」発足加盟する
- 平成6年5月 組合役員改選・・・4代目執行委員長 武田幸男氏[～平成13年度まで4期]
- 平成8年7月 「第31回定期大会&組合結成30周年記念レセプション」開催  
組合員数1,200名突破
- 平成14年5月 組合役員改選・・・5代目執行委員長 前田 勇氏[～平成17年度まで2期]
- 平成18年5月 組合役員改選・・・6代目執行委員長 江藤文男氏[～平成19年度まで1期]
- 平成18年7月 「第41回定期大会&組合結成40周年記念レセプション」開催
- 平成20年5月 組合役員改選・・・7代目執行委員長 藤田俊明氏[～平成21年度まで1期]
- 平成21年5月 下水道部・病院局 分会設立
- 平成21年10月 ユース部結成「第1回総会」開催
- 平成22年5月 組合役員改選・・・8代目執行委員長 兼武道雄氏[～平成25年度まで2期]
- 平成23年8月 上下水道局分会へ分会名変更(旧:下水道部分会)
- 平成24年4月 熊本市が指定都市となる
- 平成26年5月 組合役員改選・・・9代目執行委員長 福田幸弘氏[～令和3年度まで4期]
- 平成28年1月 「組合結成50周年記念レセプション」開催
- 平成28年4月 平成28年熊本地震
- 令和2年2月 新型コロナウイルス
- 令和4年5月 組合役員改選・・・10代目執行委員長 蜂屋 徹氏[～令和5年度まで1期]
- 令和6年5月 組合役員改選・・・11代目執行委員長 福田幸弘氏[～令和7年度まで1期]
- 令和8年5月 組合役員改選・・・12代目執行委員長 益岡宏規氏[～令和9年度まで1期目]
- 令和8年7月 「第61回定期大会&組合結成60周年記念レセプション」開催

## 5. 専門部活動について

●各専門部活動は、一人一人の組合員が安心した生活、安心して仕事ができるように取り組んで行きます。

### ○ 組織対策部の取り組み

組織対策部においては、組合加入促進を重点的に取り組みます。新規採用職員に対しては組合加入説明会や懇親会を開催し、組合の役割や意義を伝えていきます。また、退職予定者に対しては退職説明会を実施し退職後の制度や生活設計についての理解を深めてもらう取り組みを進めています。

今後は、第一職労の良さをより具体的に伝えるため、相談できる体制、職場の問題を解決できる力、仲間同士の繋がりや支えあい等、組合の強みを積極的に発信し、組合員を増やすことで組織の力を高めていきます。そのためには、組合員の声を丁寧に受け止め、課題や不安を共有しながら組織拡大と組合活動の活性化も図ります。

さらに、交渉等においては、職場環境改善、業務量の適正化、安全衛生やメンタルヘルス対策の強化など、組合員の声を強く訴え、確かな改善につなげていきます。

今年度も組合員が安心して働いていける職場づくりを目指し、ワーク・ライフ・バランスを推進していきます。

### ○ 給与対策部の取り組み

給与対策部においては、物価高騰に対応できるよう、継続的な給与・ボーナスの引き上げが求められています。熊本市役所においては、去年の人事委員会勧告に基づき、月例給及び期末・勤勉手当の改善が実施され、一定の処遇改善が図られました。本市としても、国の人事院勧告を踏まえながら、市人事委員会への申入れや交渉を行い、秋の給与確定交渉に向け協議を進めています。

また、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進に取り組み、昨年度から導入された「週休3日制」「フレックスタイム」「勤務間インターバル」などの制度が定着し、働きやすさに繋がるよう運用の改善拡大を図っていきます。

### ○ 情宣部の取り組み

情宣部においては、組合活動の情報発信として、組合情報紙やホームページを最大限に活用し、組合の取り組みや各職場の状況を分かりやすく伝えていきます。今年度も委員長だよりを随時発行し組合の活動内容や現場の声をタイムリーに届けていきます。

また、組合活動の原点や歴史を振り返り、第一職労の役割や意義を改めて共有することで、組合員が組合活動や行事に参加しやすい環境づくりを進めて行きます。さらに、組合行事や研修、交渉内容を整理し、必要な情報が直ぐ確認できるよう情報の発信と充実を図ります。

今年度は、組合員が、安心して働ける職場づくりに向けて、正確で分かりやすい情報提供を行い、組合活動への理解と参加を広げていきます。

## ○ 文化厚生部の取り組み

文化厚生部においては、仕事に全力で取り組んでいる組合員が、心身を癒し、職場・家族・仲間と楽しい時間を過ごせるような企画を行います。

今年度も「花火大会チケット補助」、「ビアパーティー」などの恒例行事に加え、親子で参加できるイベントや、幅広い世代が気軽に参加できる企画の導入をめざし、組合員同士の交流を深める取り組みを進めていきます。また、文化活動への一部補助を行い、心身のリフレッシュにつながる機会を提供し、ゆとりある生活スタイルの実現を支援してまいります。

多くの組合員が参加しやすく、楽しめる文化厚生活動を充実させ、組合員の仕事と生活の質の向上に努めてまいります。

## ○ ユース部・女性部の取り組み

ユース部においては、これからの組合を担う若い世代の人材育成とネットワークづくりは必要不可欠です。また、今年度も女性部と合同で活動を行い、新採や若手組合員に「市役所」「仕事」「労働組合」が楽しく、興味を持ってもらうよう、参加しやすい雰囲気づくりと働きかけを進めていきます。

また、各職場での悩みや相談しづらい問題を共有し、解決につなげる場を設けることで、若手組合員が、安心して働ける環境づくりに努めます。行事内容周知については、組合ホームページや情報紙を活用し、活動内容や行事の案内を分かりやすく発信することで、組合活動への理解と参加を広げていきます。

若いユース部の元気、女性部の元気が組合の活力源です。一人でも多く組合に加入していただき、『第一職労』の活動に興味を持ち参加してもらうよう全力で取り組んでいきます。